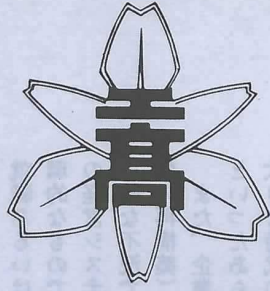
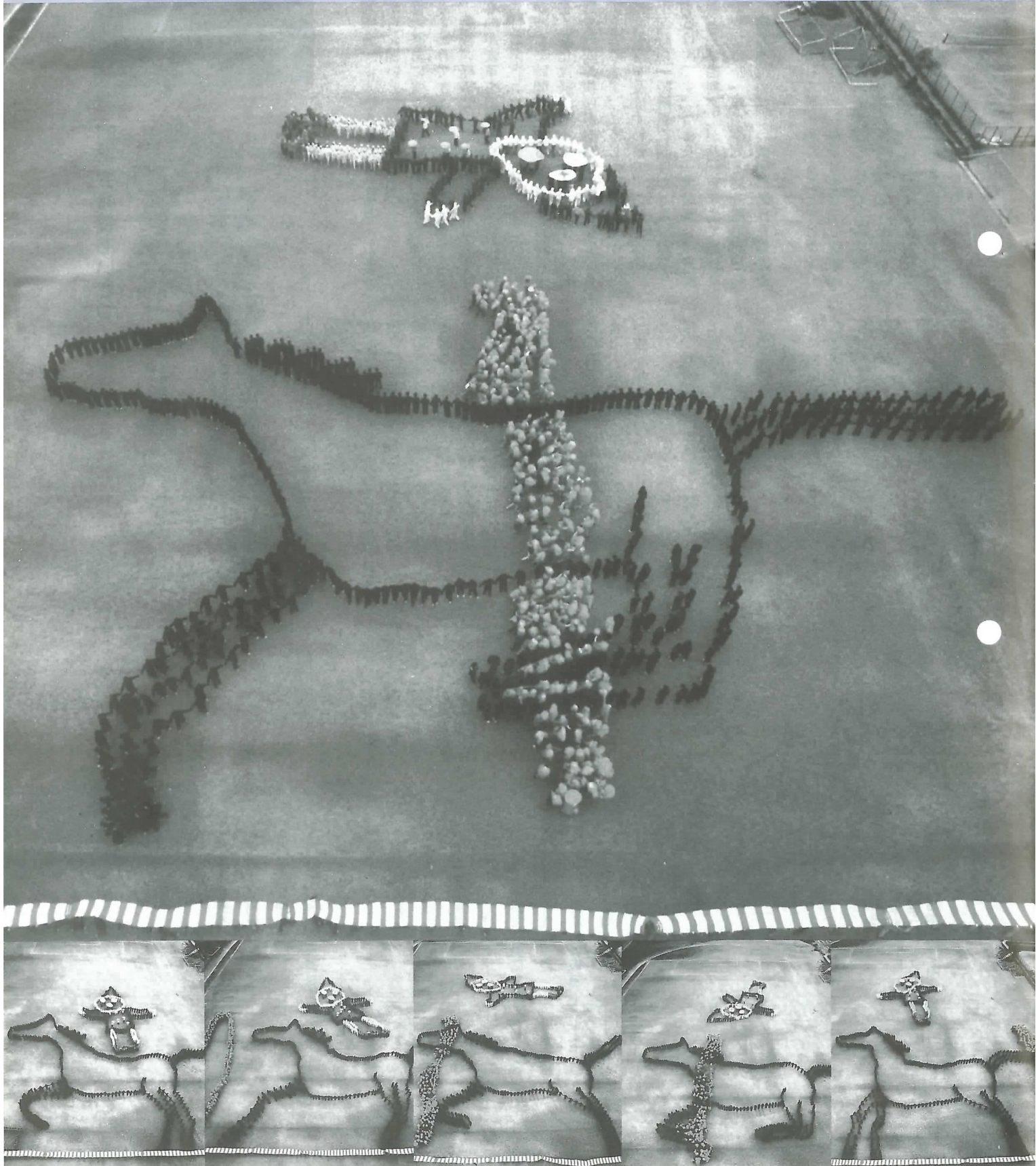


同窓 壽 会報



福島県立郡山北工業高等学校 平成5年4月10日 第43号 発行所/〒963 福島県郡山市富久山町八山田大林 | 福島県立郡山北工業高等学校同窓会
☎0249-32-1199 発行者/先崎一郎 編集者/佐々木郁雄 発行部数/12,000部 印刷/映日進堂印刷所



同窓会会長あいさつ



「卒業によせて」 「募金活動の御礼」

同窓会会長 先崎 一郎

■今年新しく「北工同窓会」に入会いただいた皆さん方を、同窓生を代表して心からお祝いとお慶びを申し上げます。

さて皆さんは、後世の歴史に残るぐらいの不況のさなか、就職あるいは進学なさるわけですが、今回の不況は単なる循環的なものではなく、戦後の経済発展を支えてきた日本企業の経営システムそのものが変革を迫られている。いわば構造的な不況であり、これに対応したりストラクチャリング(事業の再構築)には、かなりの時間を要するものと思われまふ。また、企業を取り巻く変化は経済のみでなく、文化、社会といったあらゆる分野で既成の秩序が崩壊し、混乱している。大きな時代の転換期でもあります。こうした環境変化は、当然サラリーマン個人にも影響を及ぼすわけで、これからは、米国型のレイオフ(不況時の一時解雇)制度なども、遠くから日本企業にも定着するはずで、つまり一度就職し、真面目に働いていけば年齢と共に給料が上がリ、定年まで働けた伝統的な日本型経営のシンボル、年功序列と終身雇用が崩れ、サラリーマンにとって実力本位の厳しい競争の時代を迎えることとなります。

しかし、こうした現象は決して嘆き恐れることではなく、極めて当たり前の時代になったととらえるべきで、これからは常に自分自身の付加価値を高め続け、どこへでも高く売り込めるぐらいの実力と自信を持って仕事に当たっていれば、結構面白い時代になるのかもしれない。いずれにせよ大変な時代にスタートする皆さんの健康とご多幸をお祈りします。

■最後になりましたが、このたびのトレーニングセンター建設に伴う募金活動にご協力いただいた、同窓会の皆様方や地域の方々にあらためて厚く御礼申し上げます。深刻な不況時と重なって最悪の状況下でしたが、お陰様でなんとか目標額に近づきつつあり、県の認可を頂いて、去る2月17日には起工式を行うことができました。

短期間に本当によく頑張っていたいただいた北窓会の会員企業、企業内支部に属する企業や支部の皆さん方、東京、日立の両支部、さらにPTAの皆様方には心暖まるバザーの献金、学校職員の先生方から貴重なポケットマネーを頂戴しました。また、地域の企業からも広くご協力をいただきましたことは、当校が産業振興に果たしてきた地道な努力が評価されたものと、大変うれしい限りです。もう一つご紹介しておきたいのは、日頃まったく面識もなく、遠く離れている個人の会員、二百余名の方々に郵便振替によって22.8万円が送られてきたことです。これが本当の母校愛なんだろうかと思ひ、つくづく感激しました。皆様方のご支援によってこのトレーニングセンターは4月中に完成いたします。5月29日に郡山ビューホテルで行われる定期総会では落成祝賀会も予定しておりますので、是非ご参加下さるようお願いし、重ねて厚く御礼を申し上げます次第です。

CONTENTS

- 同窓会会長あいさつ ②
- 同窓会定期総会を開催 ③
- 同窓会定期総会のお知らせ ③
- 同窓会企業内支部連絡協議会 ④
- 卒業によせて ⑤
- 支部だより ⑥
- 生徒会だより ⑦
- 北窓会から ⑦
- この一年部活動の状況 ⑧
- 今年の進路状況 ⑧
- 定時制生徒会活動について ⑨
- 平成3年度決算報告 ⑩
- 平成3年度新会員報告 ⑩
- 平成3年度基本報告 ⑩
- 北工トレーニングセンター建設 ⑪

表紙説明

日本テレビ系列
「不確スベシャル」第7回
全日本人文字コンテスト(文部省後援)
H5.3.18(木)放映 PM7:30

同窓会定期総会を 開催

トレーニングセンター建設へ



福島県内はもとより、各地の実業界へ多くの卒業生を送り出している我が校の、平成4年度同窓会定期総会は、6月6日午後5時から郡山市中町の郡山ビューホテルにおいて開催され、来賓を含めた約350名が出席した。

冒頭あいさつに立った先崎会長は、年々堅実な成長ぶりが報告されている会員各社を激励し、同窓会に対しての理解に深い感謝の意を表した。また、同窓会活動を活性化するため



に、発足した企業内支部についても、より充実させて組織の拡大を図りたい。」と抱負を述べた。この中で、「私たち郡山北工業高校の同窓会においては、旧郡山工業高校と、旧郡山西工業高校の壁を取り去ることがひとつの課題となっていたが、同窓会の企業内支部によって新旧の交流を行い、母校との連携を深めることで、解決に徐々に近づいてきている。これからますます問題となる人材難についても、卒業生の採用活動を積極的に進めて、会の結束と、若返りを期待したい。今後、諸先輩の指導、協力を仰いで、事業全般に役立て、つぎの世代にバトンタッチすることが、同窓会の大きな存在意義にもなるであろう。」と会員の相互協力を求めた。

つづく議事は、庶務報告、決算報告のあと、平成4年度事業として、在校生の体力強化を目的に、4000万円をかけた約250平方メートルのトレーニングセンターを建設することなどの議案を審議、承認して総会を終了した。

昨年に引き続き、地元経済界を代表して郡山商工会議所副会頭で、(株)ヨークベニマル社長の高善兵衛氏より、こころ温まる講演をいただき、本校同窓生を激励した。

今年、アトラクションとして郡山北工吹奏楽部が華を添えた。同吹奏楽部は、マーチングバンドも有し、学校の内外で盛んな活躍をしており、コンクール、マーチングフェスティバル等の部本来の大会は勿論のこと、郡山市若者の祭典、うねめ祭り、国体実行委員会等のアトラクションを通して広く親しまれている。この日は、北工をはじめ旧郡山工、旧西工の校歌や応援歌などが演奏され、会場は懐かしさに、真摯なムードが流れた。

同窓会定期総会・トレーニングセンター落成祝賀会のお知らせ

平成5年度定期総会ならびにトレーニングセンター落成祝賀会を下記のように開催いたします。
多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 日時 5月29日(土)午後5時より定期総会
午後6時30分より懇親会及び落成祝賀会
 2. 場所 郡山ビューホテル(4F「安積の間」) TEL 0249-24-1111
 3. 会費 5,000円 新会員(平成4年度卒業生)は会費3,000円
- ※詳細については同窓会事務局(佐々木郁雄)までご連絡下さい

TEL (0249) 32-1199

新入社員の精神的 受け皿へ

同窓生の多い企業内で設立された、企業内支部の第2回連絡協議会は、4月23日午後6時より郡山ビューホテルアネックスに於いて行なわれ、企業側の代表と、企業内支部長、副支部長ら35名に加えて、学校側からは、堀金学校長、教頭、各科長、事務長、進路指導など15名に同窓会三役の、総勢60名が出席した。

はじめに、先崎同窓会会長より、学校側と企業側にお礼の言葉が述べられ、次のような抱負が語られた。

①同窓会の若返りと、組織化、活性化の推進

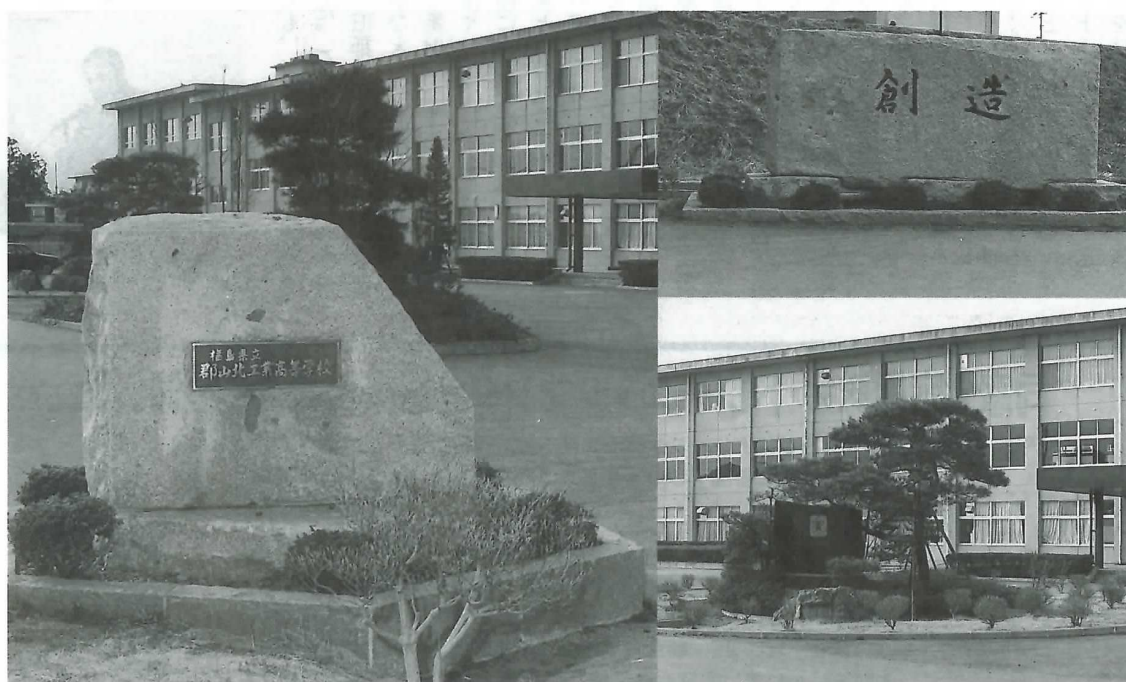
②企業内支部は、新入社員にとつての、精神的な受け皿になって面倒を見、育てて欲しい。

③学校側は、企業を推薦し、安心して生徒を送り出せるようにしたい。

また、「各社における北工からの採用実績数については、発表をして良いかどうかを考えましたが、実態を把握してもらうためにもと思い、資料を配布します。リクルートに関しての不満もあると思いますが、自分の企業をいかに知ってもらうか、そして先生方の推薦がいかに大きいかを考慮すべきです。企業側、学校側双方にとって、なまの声が出せるように、この会を有効な情報交換の場にしていきましょう。」と力強く述べた。

さらに、学校側から推薦をもらった企業で、いまだに企業内支部長、副支部長が決められていないところや、会の出席に消極的なところはこの際、他の企業もあるので今後、学校側に検討してもらいたい旨の意見もだされた。

引き続いて、堀金学校長より学校の現況についての報告があり、進路指導部からも、生徒がどんな企業の選び方をするかなど具体的な話しに、参加者は熱心に聞き入った。



トレーニングセンター建設 と 部活動

学校長

堀金 敏幸



同窓会の皆様には、各方面でのご活躍、心よりお喜び申し上げます。

皆様には、日頃より学校に対しまして物心両面にわたるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

特に、このたびのトレーニングセンター建設につきましては、先崎同窓会長、清水北窓会長様をはじめ、役員、会員の皆様の献身的な募金活動のご努力により着工の運びになり、4月末には竣工の予定になりました。

このことにつきまして、学校を代表して心より感謝と御礼申し上げます。

現在、学校では、①学力向上、②基本的な生活習慣の確立、③部活動の活性化と充実の三つの重点努力目標を設定して生徒の指導にあたっております。

①、②については、本年度かなりの成果をあげることができ、各方面から高い評価を受けております。しかし、③の部活動については、いまいち成果があげられず低迷している面があります。かつての北工に戻すことが課題です。

「部活動」は、昔から「文武両道」という言葉があるように、人間の人格形成上、大切な活動であります。

部活動は、机上の勉強では得られない大変貴重な能力や資質を身につける場になります。たとえば、上級生や下級生の仲間とともに、互いに切磋琢磨し合う中で、リーダーシップやフォローアップ、困難に耐える力や人を思いやる心が育ちます。また、部活動を進める中で、企画力や創造性なども身につきます。

これらの資質や能力は実社会に出てからは、学力以上に生きた力になると思います。

そういう意味から、このたびのトレーニングセンター建設は、誠に意義深く、これからの本校教育活動に大いに役立つものと確信いたします。完成後は、センターを効率よく活用し教職員一丸となって、部活動の指導にあたり、競技力の向上を旨とし学校活性化に最善を尽す覚悟であります。

さて、卒業生の皆さん、卒業おめでとう。

皆さんは、卒業と同時に同窓会にあたたかく迎えられ、北工同窓会の一員になりました。

先輩諸兄は、国内外の各方面で大活躍しております。卒業生の皆さんも優秀な先輩に負けないでがんばって欲しいと思います。

これから皆さんの人生の始まりです。

時代は、まさに激動の時代です。目まぐるしく変化する時代に自分の力で正しく判断し、正しく解決できる能力こそが、最も必要です。それには常に自己研鑽に励み、優れた技術力と豊かな教養と人間性を養うことです。どうか、北工卒業生としての誇りと自信をもって、社会に貢献できる人材にならんことを心から期待いたします。

最後に、同窓会の益々のご発展を祈ります。



支部だより

水戸支部総会 盛大に開催！



平成4年7月11日(土)勝田市の「グランドホテル武田」において、水戸支部総会が盛大に開催された。

今総会は平成2年2月開催の30周年記念総会以降に入会した4名(H2 1名(女子)、H4 3名)の歓迎会を兼ねて行われた。

総会には、学校から堀金校長、同窓会本部から今泉副会長、田母神事務局次長、日立支部から山川支部長他2名、東京支部から山口事務局他1名が来賓として参加され、水戸支部員は58名中27名が参加した。

総会では、堀金校長等による母校の近況報告、各支部の活動状況報告、水戸支部各ブロックごとの紹介・余興等があり、盛況だったが、若年層



の参加が少なく、今後は如何にして若年層の参加を多くするのが課題である。

水戸支部は日立関連6工場の5ブロックとJR・県庁の1ブロックに分け、幹事ブロックを交代で行うようにして、今回が初めての総会であった。

日立支部では恒例行事である支部総会を桜の花咲く、去る平成4年4月24日(金)に実施した。本総会には学校側から堀金校長先生、佐々木先生、同窓会本部から先崎会長、佐久間副会長、さらに水戸支部から八代理事長をお招きし、くわえ平成4年に日立地区に就職された4名、水戸地区に就職された3名の新入会員の歓迎会を兼ねて海岸に臨む日立初崎保健センターにて盛大に行なった。

本総会に先立ち学校側よりおいで戴いた先生方を重電気製品を製作し、日立市内が一望できる小平記念館を有する(株)日立製作所日立工場をはじめ、茨城地区の各工場を案内し日立の企業の実情を視察戴いた。



本総会には多数の会員が参加し、第一部“総会”第二部“懇親会”で構成し“総会”では日立支部の一年間の経過報告等を行なった。引き続き“懇親会”に入り冒頭来賓の方々より温かいご祝辞を戴き、又堀金校長、先崎会長からトレーニングセンター設立に関する背景の説明及び協力要請があった。その後七海副支部長の乾杯で宴会に入り、宴たけなわとなり母校や故郷の近況報告に話はずみ、最後に同窓生の今後の精進に檄を飛ばされた。

さらには恒例となっている新入会員との懇親会も開催した。懇親会は昨年11月4日、本年度日立支部に加入した新入会員の激励と懇親を兼ねた支部役員との交流会を持った。会では各人の意見交換を行ない日立の組織の一員として立派に活躍していること等の報告があり、先輩としてたのもしかぎりであった。本懇親会により同窓生としての繋がりをなお一層強くしたものであった。

又、本年度は同窓会本部からトレセン設立の募金要請があり、“本主旨

日立支部だより



を理解して戴き、数多くの会員の協力を戴けるよう”数回の役員会を開き、会員に呼びかけを行なった。この結果46万1千円の募金が集まり、去る12月19日日立支部代表として田村副支部長、小池幹事両氏が学校へ持参した。今後立派なトレセンが完成することを日立支部一同お祈り申し上げます。



北窓会会長
清水善一

同窓生の皆さんには全国各地で各企業の期待を担って、この不透明で先がまだよく見えてこない景況感の最悪期においても、あらゆるポジションで努力なさっていることとご推察致しております。

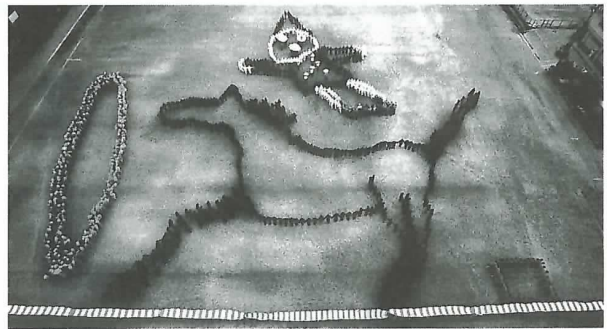
さて、郡山北工業高校北窓会についてはすでにご承知のことは存じますが、同窓会を側面的に援助する目的で設立し、母校の発展に寄与すべく毎年努力しているところでございます。今般、母校よりのご希望により、在校生の体力増進と各体育関係クラブ活動の活躍向上を目的に、併せて母校の知名度アップを計るべく、トレーニングセンター建設に同窓会共々鋭意募金活動を展開して参りました。同窓会の皆様並びに北窓会会員の皆様のご協力によりまして、当初の計画通り建設着工し、4月末には完成の運びとなりました。同窓会会員の皆様一人一人に深く感謝の意を表するものであります。平成5年度の同窓会総会には皆様是非ともご参会のうえ、母校に立ち寄られましてこの施設をご覧になって下さることを願います。このように今後も母校が発展していく上で、教育行政側が各種事情によって対応不能の場合、北窓会としては、同窓会のご同意ご協力を得てこのたび同様、母校支援に可能な限り協力を惜しまない所存であります。

いま、日本に限らず世界は同時不況に見舞われています。各社各業種とも多面的にリストラクチャリングを強いられ、21世紀に向かって大変化を遂げていく時期であると認識致しております。同窓生各位が、この激動期においてめげることなく一層のご努力、ご健闘され、時代の波を乗り越えて社会の発展に参画し、明るい将来を構築されますよう、心よりご祈念申し上げます。

北窓会会員

社名	氏名
1 ㈱清水工業	清水 善一(31建)
2 田村通信防災工業㈱	増子 久治(42電)
3 山田設備工業㈱	山田 義頭(35機)
4 ㈱宮川ハイテクマシーナリー	宮川 正年(42機)
5 ㈱伊藤商店機材部	伊藤シク子(夫人)
6 ㈱プリバント大沼	大沼 良雄(31建)
7 ㈱今川	今川 直彦(34機)
8 石橋工業㈱	石橋 邦勝(33機)
9 東陽工業㈱	大塚 正博(30機)
10 ㈱キョウエイ	猪越 幹雄(30機)
11 ㈱東北エントープライズ	先崎 一郎(31機)
12 春日設備工業㈱	春日 力(40建)
13 ㈱ビクセル	橋本 保一(35機)
14 ㈱郡山デザイン店舗芸社	有我 栄(35機)
15 福島アビオニクス㈱	渡木 鎌生(27機)
16 ㈱ザイン	鈴木 廣哉(40機)

3月18日放送の日本テレビ(FCT)「木曜スペシャル」第7回全日本・人文



人文字コンテストに参加して
最優秀チームワーク賞獲得

生徒会
吉田会津夫



「字コンテスト」(文部省後援)をご覧になられたでしょうか。日頃、後輩達の

「字コンテスト」(文部省後援)をご覧になられたでしょうか。日頃、後輩達の

生活ぶりは、あまり分からないのが、本当のところでしょう。番組を通して在校生の元気な姿を、同窓生の皆様にお見せできたことが、大変嬉しく思われます。

生徒会は、3年に一度の工業祭の一環として、前述の人文字コンテストに参加いたしました。写真のように全校生と職員1300名が、校庭に3分程度のストーリーで動く模様を描くというものです。馬は北工のシンボル「北の駿馬」を表しています。ピエロは奮闘する生徒であり、三つの障害は各学生を象徴していて、揺れながら、しかし無事卒業するといった筋書きです。

昨年8月までに全国から応募された団体のうち、北工を含めた11団体に発表のチャンスが与えられました。しかし、内定を受けてからが苦難の日々でした。デザインもストーリーも出て来

ないのです。創造することの難しさは筆舌に尽くしがたいものがあります。そして、次は人間を動かす、それも1300人を。ここから先は、試行錯誤を繰り返しながら、全職員の協力のもと、3週間で完成しました。地上50メートルのクレーン車に乗って指揮をされた高橋先生を始め、サンタの仮装で参加下さった校長。そして何よりも最後まで協力的であった全生徒に心より感謝したいと思います。

おかげ様で、今年1月のスタジオ収録で、北工の作品は見事、最優秀チームワーク賞(副賞50万円)を獲得しました。しかし何より素晴らしいのは、個人優先の風潮の中にあつて高校生が力を合わせて一つの事を成し遂げたことです。この経験はきつと、生徒達にとつて必ず役に立つものと確信しています。

バドミントン部

顧問 平田利文

平成4年度の活動状況はインターハイ予選で運悪く第1シードと2回戦で対戦し敗戦してしまい県大会出場はしたものの思うような成績を納めることができなかった。しかし、新人戦では地区予選で準優勝、県大会で3位に入り東北大会出場権を獲得し、大曲で行われた東北大会に出場1回戦地元横手工業と対戦し3-10で快勝した。2回戦第1シードの日大山形と対戦、第1シングルの橋本がファイナルまで善戦したが惜しくも破れ敗戦してしまった。今年度は団体戦で結果を残したが、個人戦も今後期待をしている。諸先輩のご指導をお願いします。

スケート愛好会

顧問

アイスホッケー部門 渡辺 毅 郎
スピードスケート部門 菊池 由喜男

スケート愛好会が発足して1年の月日が流れようとしています。活動状況として報告申し上げます。夏場は基礎体力づくり、秋からは氷上練習と来年の「インターハイ」更に翌年の「ふくしま国体」へと胸を膨らませながら厳しい練習を行っています。なかなか練習場所の確保について思うようにはいきませんが、県の強化指定クラブとして目標をもって頑

張っておりますので、これからもご支援・御指導のほどよろしくお願い致します。

ソフトボール部

顧問 柳沼善久

県春季大会1回戦敗退、県高校総体3位、県総体1回戦敗退という目立った成績を上げることができませんでした。県新人大会では優勝、また南東北大会でも優勝することが出来、と同時に2年ぶり5回目の全国選抜大会出場を果たしました。現在は、全国選抜大会1回戦(対広

この一年 部活動の状況

吹奏楽部

顧問 本橋義彰

本校吹奏楽部は、ご承知の通り、吹奏楽とマーチングの両立をめざして毎日練習を重ねております。本年度は、例年になく外部からの依頼が多く、大変忙しい年になりました。

大きな行事としては、マーチングで東北大大会に出場し、素晴らしい演技ができたと思います。また、1月に行われた定

島工大附属高校)突破を目標に、毎日の練習に汗を流し、同窓生、OBの皆様の「ご支援、ご協力のもとベストを尽し戦って参ります。



ソフトテニス部

顧問 吉田迪徳

平成元年度、黒沢・島田(機械・情技)組が地区予選の不振から見事復活してインターハイ出場。その後、選手層の薄さなど低迷状態が続く。平成3年度、男子部員6名という危機的状況の中、加藤(電子)主将を中心に県高校インドア団体戦準優勝。今年度、1年生主力の布陣で県新人団体戦ベスト8。以上最近4年間を振り返って見ました。現在、部員の誰もが「夢と希望」を胸に、先輩各位の期待に応えるべく、日夜練習に励んでいます。

サッカー部

顧問 仲本武司

OBの皆さんごめんなさい。ここ数年、秋の選手権大会までにかチームらしくなるのが精一杯で、残念な時をすごしてしまいました。来年は将来性のある力強い生徒が多数入学予定なので楽しみにしています。練習量では負けないだけに、今後の成果を期待したいものです。同窓会の方々のお力添えで、トレーニングセンターが建設されることになり、ますます充実した練習ができるものと感謝でいっぱいです。数年後の復活を目指し、一からやり直しの気持ちで頑張ります。



期演奏会でも少人数ながら、立派な演奏であったと思います。今後とも宜しくご指導、ご鞭達、お願いいたします。

今年の進路状況

進路指導部長
高久田 稔

経済不況の最中、各企業は新規採用を出来るだけ控える方針に切り替えましたが、本校では過去の実績が物を云ってか、求人数は前年度よりは若干減ったものの例年とあまり変らず年内にはほぼ100%の就職内定を見ました。大学合格数は横ばい、反面公務員合格数が三倍になったのは不況のなせるわざと云えるでしょう。

今年の進路状況の特色としては、
一、過去10年間で初めて県外就職者が100名を割った。

二、その分進学希望者が増え2割に達した。

三、特定の企業、職種に集中せず、幅広く選択をした。

四、県立会津大学の一期生として2名が合格した。ことなどがあげられます。

今後の傾向は判りませんが、景気に関係なく進学希望が増加するとすれば、スポーツの振興と同様に入学時からの進学対策が進路指導の課題となりそうです。

定時制生徒会活動について



日頃から同窓会にご協力をいただきまして誠にありがとうございます。定時制は年々生徒数が減少し、今年度は50名ならずとなり小所帯の生徒会活動でしたが、一丸となって生徒会発展のための努力を重ねています。部活動では、本年度も軟式庭球と柔道が全国大会に出場し、昨年度以上の活躍で、全国に郡北工高の名を響かせました。毎日授業が終る9時過ぎから遅くまで練習した成果だと思えます。今後も活躍が期待されます。他にバレーボール部は県南大会で優勝し、軟式野球部も神宮大会を目ざし頑張っています。

また、校内の生徒会行事においては、春秋の球技大会(ソフトボール・ボウリング)を実施し、北嶺祭では、各班の展示や募金活動で大変盛り上がりしました。報道委員会の苦勞により、四年間の定時制生活の思い出となる立派な機関紙「よぞら」(第216号)もでき、今後も地道な活動を続けて行きたいと思えます。ご指導の程お願い致します。

平成4年度 進路内定状況 5.1.31現在

1. 進路内定状況 () は女子内数

科	機械	電気	電子	情報	建築	化工	合計
在籍数	123	80	40(1)	41(14)	42(9)	83(30)	409(54)
就職内定数	56	48	22(1)	22(11)	9(4)	47(16)	204(32)
県内	18	13	9	8(1)	13(3)	15(5)	76(9)
県外	3	1	2	0	3	3(1)	12(1)
公務員	3	3	0	1(1)	6	4(2)	17(3)
自営/縁故	3	3	0	1(1)	6	4(2)	17(3)
計	80	65	33(1)	31(13)	31(7)	69(24)	309(45)
進学者数	3	0	2	3	4	1(1)	13(1)
大学	0	0	0	1	0	1(1)	2(1)
短大	21	5	3	8(1)	7(1)	10(5)	44(5)
専修	24	5	5	8(1)	7(1)	10(5)	59(7)
計	11	5	0	0	2(1)	2(1)	20(2)
未定その他	115	75	38(1)	39(14)	40(9)	81(30)	388(54)

2. 進学希望内訳 () は女子内数

専攻	機械	電気	電子	情報	建築	化工	小計	合計
大学	2	3	0	0	1	0	6	6
理工系	0	0	0	0	0	0	0	
文科系	0	0	0	0	0	0	0	
短大	0	0	0	0	0	0	0	1
理工系	0	0	0	0	0	1	1	
文科系	0	0	0	0	0	0	0	
専修・各種校	6	2	2	2	1	1	14	14
職業訓練校	0	0	0	0	0	0	0	
計	8	5	2	2	2	2	21	21
備考								

年度別進路状況

年度	進学者数(大学)	就職者数	県内就職者数 市内	市外	県外就職者数
S57	10	364	139	92	133
58	14	335	134	97	104
59	15	333	137	81	115
60	13	361	122	118	121
61	15	333	105	103	125
62	12	343	112	107	124
63	16	344	138	98	108
H1	14	352	168	76	108
2	14	323	152	61	110
3	17	325	149	49	127
4					



弱電部品製造・精密金型製造、販売

株式会社 **ザイン**

代表取締役 鈴木 廣 哉 (昭40年度機械科卒)

〒963 福島県郡山市富久山町福原字宝田46番1
TEL (0249) 34-0699
FAX (0249) 22-7403

平成3年度新会員報告

全 日 制	
科	人 数
機 械 科	123名
電 気 科	80名
電 子 科	42名
情報技術科	43名
建 築 科	43名
化学工学科	76名
小 計	407名
定 時 制	
科	人 数
工 業 科	12名
小 計	12名
合 計	419名

平成3年度 基本金報告

① 収入の部

項 目	金 額	備 考
繰 越 金	7,762,728円	
本年度基本金	499,200円	832人×3,000×0.2
雑 収 入	341,109円	銀行利息
合 計	8,603,037円	

② 支出の部 0円

③ 残 高	8,603,037円
・中国ファンド	8,570,000円
・定額預金	13,301円
・定期預金	19,736円

平成3年度 決算報告

1 収入総額	3,924,482円
2 支出総額	3,728,229円
3 差引残高	196,253円

1. 収入の部

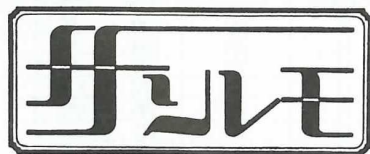
項 目	予 算 額	決 算 額	増 △減	備 考
繰 越 金	815,393	815,393	0	
会 費	1,248,000	1,248,000	0	(395+21)×3,000円
入 会 金	1,248,000	1,248,000	0	(395+21)×3,000円
会誌広告料	170,000	160,000	△ 10,000	広告掲載料
北窓会助成金	300,000	300,000	0	北窓会からの助成金
雑 収 入	3,607	153,089	149,482	名簿、利息、総会残金
合 計	3,785,000	3,924,482	139,482	

2. 支出の部

項 目	3年度予算額	決 算 額	増 △減	備 考
基 本 金	499,200	499,200	0	832名×3,000円×0.2
特別基本金	0	0	0	
会 議 費	350,000	269,694	△ 80,306	三役会、幹事会など
事 務 費	50,000	19,847	△ 30,153	職員録、バインダー
慶 弔 費	350,000	476,125	126,125	餞別、賞品、香典など
通 信 費	600,000	579,064	△ 20,936	会報送料、葉書、切手
旅 費	300,000	197,270	△102,730	東京・日立支部総会等
会誌編集費	350,000	547,385	197,385	会誌印刷、折込謝礼等
渉 外 費	100,000	272,678	172,678	関係機関との渉外諸費
卒業生諸費	400,000	359,014	△ 40,986	卒業記念品、名簿印刷
事務局費	160,000	160,000	0	事務局手当
工 業 祭	0	0	0	
支部助成金	300,000	150,000	△150,000	東京支部
学校案内助成	150,000	149,952	△ 48	学校案内印刷
予 備 費	175,800	48,000	△127,800	写真、額など
合 計	3,785,000	3,728,229	△ 56,771	

差引残高196,253円は次年度へ繰り越します。・定額預金 13,301円
・定期預金 19,736円

ビュープラザ店(婦人服・ハンドバック) 郡山市中町3-1ビュープラザ1階 ☎24-1144
希望ヶ丘店(袋物・靴・アクセサリー) 郡山市富田町大徳南アーデン内 ☎52-0511



事務所 郡山市中町3-1 ☎0249-32-2140

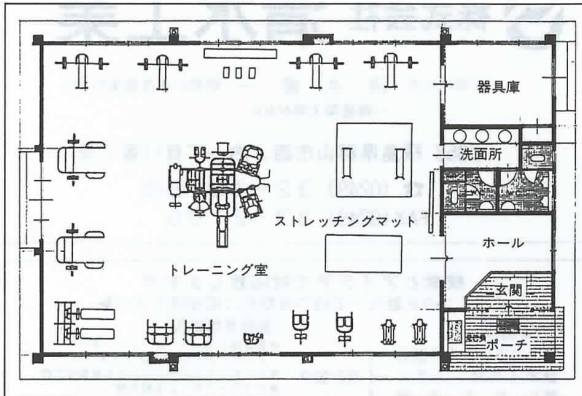
今 泉 善 治 (昭和26年度機械科卒)
今 泉 善 英 (昭和31年度建築科卒)

民間車検場
お車にまごころを
三善自動車工業
MIYOSHI

代表取締役 渡 辺 善二郎
(昭和41年度機械科卒)



〒963 郡山市富久山町福原字山中3 ☎22-5088



4月5日現在

北工 トレーニングセンター 建設

4月下旬完成

トレーニングセンター建設資金募金額中間報告

1. 収入の部 平成5年3月11日現在

項目	収入額	摘要
同窓生(郵便振替)	2,280,000円	1口×252、2口×85、4口×3 6口×2、10口×1(現金1口含む)
企業(企業内支部)	1,840,000円	16社
企業(一般企業)	2,880,000円	66社
同窓会役員(募金活動額)	8,471,000円	
北窓会(募金活動額)	8,410,000円	
日立支部(募金活動額)	366,000円	実質46.1万温(内9.5万円は郵便振替で入金)
東京支部(募金活動額)	675,000円	同窓生32.5万円 企業35万円
P T A バザー	868,501円	
学校職員	905,000円	
基金取り崩し	5,000,000円	
雑収入	10,454円	利息10,444円、その他10円
合計	31,705,955円	

2. 支出の部

項目	支出額	摘要
郵便振替手数料	25,860円	
銀行手数料	4,193円	
諸経費	1,640,309円	印刷・郵送料等
合計	1,670,362円	

3. 現在高 30,035,593円

同窓会が中心となって進めているトレーニングセンターは、同窓会館北側に建設中でこの4月下旬に完成予定となりました。去る2月17日には工事の無事を祈願し、同窓会役員、学校関係者約20名が出席して地鎮祭が行われました。

鉄骨平屋建て253・32平方メートルの建物内には、コンビネーションマシーン、ベンチプレスをはじめ、筋力アップのマシンを導入する予定です。

最近低迷ぎみの運動部の強化を図るのがねらいで、昨年10月から募金活動を行い3月11日現在で約2千7百万円の寄付金が寄せられました。中間報告ではありませんが、内訳を記しましたのでご覧下さい。また、募金の受付時間を本年9月末日までと延期致しました。この機会に一人でも多くのご協力をお願い申し上げます。

なお、募金にご協力下さった方々へは、6月上旬に芳名簿をお送りさせていただきます。

工作機械 作業工具
板金機械 測定工具
熔接機材 研磨材

株式会社 伊藤商店機材部

代表取締役 伊藤 シク子

〒963 郡山市菜根5丁目21番13号
電話 郡山 0249-33-0611(代表) FAX 郡山 0249-34-7113

二級建築士事務所 第22(112)0712号
インテリアプランナー・建設大臣認定第88-00698号
住宅金融公庫特定業務登録建築士事務所
建築・内装工事業県知事登録(股62)14634号
商業施設・商店建築・店舗内外装工事 設計・監理・施工
一般住宅建築・増改築改修工事

KD株式会社 郡山デザイン・店舗工芸社

二級建築士・インテリアプランナー
代表取締役 有我 榮 (昭和35年度機械科卒)

〒963 福島県郡山市深田台1番地の6
☎(0249)44-7171(代) FAX(0249)44-7168



代表取締役社長 猪越 幹雄 (昭和30年度機械科卒)

株式会社キョウエイ

本社/〒962-04 福島県須賀川市大字清川字中津沢45-1 TEL 0248-76-0215(代) FAX 0248-75-1789
札幌営業所/〒065 北海道札幌市東区伏見2条5丁目1-18 TEL 011-786-8811(代) FAX 011-786-8812
仙台営業所/〒983 宮城県仙台市宮城野区宮町三丁目10-1 TEL 022-239-2171(代) FAX 022-239-2174
千葉営業所/〒263 千葉県千葉市稲毛区小深町47 TEL 043-422-1906(代) FAX 043-422-6693
●工場/古小牧・郡山・須賀川・鏡石・千葉・群馬●配送センター/須賀川・関東

営業品目

火災報知設備・構内交換電話設備・消火設備・
防火排煙設備・非常用放送設備・テレビ共聴設備
消火器・防犯設備・以上に附帯する一切の業務

田村通信防災工業株式会社

代表取締役 増予 久治 (昭和42年度電気科卒)

郡山市安積町荒井字下北井前4-1
☎(0249)45-2882(代) FAX(0249)46-2875

画像・映像・情報電子機器及びハイブリッドICの生産

福島アビオニクス株式会社

代表取締役 凌木 謙生 (昭和27年度機械科卒)

伊藤 貞栄 (S57・化学) 大越 幸治 (S59・機械)
伊藤 清一 (H元・電子) 大和田隆幸 (H元・機械)
菅野 克也 (H元・情報) 高原美智子 (H元・化学)
田母神 一彦 (H元・電気) 渡辺 信一 (H元・電気)
内山 一敏 (H2・機械) 佐々木勝雄 (H2・電気)
松崎 公彦 (H2・電気) 宇野 幸枝 (H3・電子)
柳沼 孝 (H3・電気)

〒963-04 郡山市片平町字渡戸山1番地
(郡山西部第二工業団地)
☎(0249)59-1300(代表)

県建設業登録許可番号(特-2)第3537号

須賀川市水道工事公認店

給排水・給湯・衛生・冷暖房・空調調和設備工事

春日設備工業株式会社

代表取締役 春日 力 (昭和40年度建築科)

福島県須賀川市堀底町18
☎(0248)76-2131(代)
☎(0248)76-2132

OA・音響・家電・映像・自動車・暖房機器の
金属プレス加工メーカー



石橋工業株式会社

代表取締役会長 石橋 隆純
代表取締役社長 石橋 邦勝 (昭和33年度機械科卒)
取締役営業部長 桑名 武義 (昭和35年度機械科卒)

郡山市安積町成田字三渡一 TEL (0249) 45-3411 FAX (0249) 46-1145
関連事業 アクト技研機 N Cワイヤ、レーザー加工 TEL (0249) 44-9730
よもぎ堂 離れ 石橋亭、松嶺亭、四季亭 TEL (0249) 84-2671

〈確かな技術が未来を築く〉

火力発電プラント・各種プラント設計製作



東陽工業株式会社

取締役社長 大塚 正博 (昭和30年度機械科卒)
取締役 落合 弘 (昭和32年度機械科卒)

〒969-11 福島県本宮町青田字花掛20番地
☎(0243)34-2730(代)
☎(0243)33-3790

●カーコンサルタント

株式会社 今川

代表取締役 今川 直彦 (昭和34年度機械科卒)

本社〒963-01 郡山市安積町荒井東前田37-3 ☎(0249)45-1623(代)
車検センター 郡山市安積二丁目184-1 ☎(0249)45-8300
成田工場 郡山市安積町成田字高田47 ☎(0249)45-2478

株式会社 清水工業

取締役社長 清水 善一 (昭和31年度建築科卒)
一級建築士第46405

〒963 福島県郡山市西ノ内一丁目11番7号
☎(0249)32-4318(代)
FAX(0249)33-2196

技術とアイデアで対応致します!!

◀ラインの自動化・工程の自動化に御相談下さい▶

【営業品目】

- メカトロニクス製品
■電子回路システム
■自動制御盤

【製作実績製品】

- 農業用ロボット・オートローダー・
アンローダー(NC機とドッキング)
●インテックステーブルによる自動組立機
●XYテーブルによる組立機
●フリーフローラインによる自動化システム

他、ユーザーのニーズに対応致します!!

株式会社 宮川ハイテクマシーナリー

代表取締役 宮川 正年 (昭41年度電機) 制御部長 宮川 工 (昭46年度電機)
本社 郡山市虎丸町9-15 ☎0249-32-2159 ☎0249-33-7623
工場 郡山市富久山町久保田字大久保68-2 ☎0249-22-8470(代)☎0249-34-4336
制御部 郡山市喜久田町字富蒲池1-1 ☎0249-59-3970(代)☎0249-59-3836

冷暖房空調・給排水衛生設備・浄化槽及各種水処理
消火設備・上下水道施設工事
設計・施工・管理
県知事許可(特-2)4141

山田設備工業株式会社

代表取締役 山田 義顕 (昭和35年度機械科卒)

福島県白河市南新白河1-251
☎(0248)22-1195(代) ☎(0248)23-2150

鋼構造物製作

福島県知事許可(般-2)第2528号
全国鉄構工業連合会・鋼構造物製作工場認定第02.M.6018号



株式会社 ビクセル

代表取締役 橋本 保一 (昭和35年度機械科卒)

本社工場/福島県郡山市田村町上行合字下川原97番地
電話0249(44)3213(代表) FAX 0249(44)3218



株式会社 東北エンタープライズ

取締役社長 先崎 一郎 (昭和31年度機械科卒)
常務取締役 中村 勝左エ門 (昭和35年度建築科卒)

本社 ●福島県郡山市開成4-8-15 〒963 TEL0249-33-2555(代)FAX0249-23-2555
仙台支社 ●仙台市青葉区立町20-10(ピースビル西公園4F)〒980 TEL022-265-6382(代)FAX022-265-6395
■空調調和設備、給排水衛生設備の設計・施工および保守管理